

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	大学発医療系スタートアップ支援プログラム		担当部局	研究振興局		作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和10年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 金井 宏行	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律」第27条の2 「国立研究開発法人日本医療研究開発機構法」第17条の2		関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針(令和5年6月16日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版(令和5年6月16日閣議決定) デフレ完全脱却のための総合経済対策(令和5年11月2日閣議決定) 健康・医療戦略(令和2年3月27日第2期閣議決定) 医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日第2期健康・医療戦略推進本部決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費			
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	医療イノベーションの源である大学発医療系スタートアップの支援を通じ、大学等の優れた研究シーズを活用した革新的な医薬品・医療機器等の実用化を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	スタートアップを通じた医薬品・医療機器等の創出が世界的なトレンドとなっており、大学発医療系スタートアップは医療イノベーションに欠かせない存在である一方、開発段階から治験等を見据えた薬事規制対応が必要であり、特別な支援が不可欠である。他方、日本では関係府省において医療系スタートアップへの支援を推進しているものの、シード期(非臨床段階)における伴走支援や資金提供については未だ不十分な状況にある。大学等の研究シーズの実用化に向けては、文部科学省においてこれまで、「橋渡し研究プログラム」を通じ、医師主導治験や企業導出に向けた支援により一定の成果を挙げてきたが、同事業により蓄積されたノウハウや実績を活かしつつ、大学発医療系スタートアップへの支援を強化する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	医薬品等の実用化支援についてノウハウと実績のある橋渡し研究支援機関(文部科学大臣認定)から選抜した機関を通じ、柔軟かつ機動的な支援が可能な基金を活用して、大学発医療系スタートアップ起業のための専門的見地からの伴走支援や非臨床研究等に必要な費用の支援、医療ニーズを捉えて起業を目指す若手人材の発掘・育成を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	100%						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	15,220	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	15,220	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	15,220	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
	(目)						
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)	大学発医療系スタートアップ起業のための専門的見地からの伴走支援や非臨床研究等に必要な費用の支援、医療ニーズを捉えて起業を目指す若手人材の発掘・育成を実施するため、橋渡し研究支援機関(文部科学大臣認定)から採択拠点を選抜し、補助を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	スタートアップの起業を支援する体制の整備		活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	4	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業では医薬品等の実用化支援についてノウハウと実績のある橋渡し研究支援機関(文部科学大臣認定)に、スタートアップの起業に必要となる専門的な支援や関係業界との連携等を行うためのスタートアップ支援体制の機能を付加し、実用化を目指す大学等の優れた研究シーズをこれまで以上に全国から広く発掘し、育成に取り組む。このため、以下の短期アウトカムを設定する。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
	将来的な実用化が期待される研究課題の採択		大学発の研究成果の事業化支援件数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績 本事業の採択拠点の年次報告(予定) (短期アウトカムの目標値を設定できない理由: 科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会ライフサイエンス委員会における議論等を踏まえ、年度内に設定予定。)										
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業では採択拠点のマネジメントのもと、薬事規制対応など医療分野特有の支援も含め、スタートアップに必要となる伴走支援や非臨床研究等に必要となる費用を柔軟かつ機動的に支援する。こういった一連の支援の結果、起業直後の企業が策定する事業戦略がVC等に評価され、公的資金以外に民間資金を獲得する段階に至ることが本事業の目指すところであるため、以下の長期アウトカムを設定する。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
	革新的な医療系シーズの実用化開発の進展		採択されたスタートアップへのVC等からの投資額	成果実績	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績 本事業の採択拠点の年次報告(予定) (長期アウトカムの目標値を設定できない理由: 科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会ライフサイエンス委員会における議論等を踏まえ、年度内に設定予定。)										
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										
アウトカム設定についての説明										

文部科学省
15,220百万円



【補助金等交付】

A.国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

〔プロジェクト管理〕



【補助金等交付】

B.大学・研究機関等
(全4機関程度)

〔スタートアップの
起業に関する支援等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック